

令和2年度
介護保険事業者における事故報告
集計結果



鳥取市

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間に、鳥取市に報告のあった介護サービス事業所、老人福祉施設等における事故報告書の集計結果を公表します。今後の事業運営及び介護事故防止にご活用下さい。

1 事故報告の内容

- (1) 負傷（医師の保険診療を要したもの）
- (2) 死亡事故（病気死亡を含まない）
- (3) 誤薬、与薬漏れ
- (4) 食中毒の発生
- (5) 次に掲げる感染症等の発生が認められた場合
 - ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定める1・2・3類、レジオネラ症、疥癬(かいせん)及び結核が発生した場合
 - ・同一の感染症若しくは食中毒による又はそれによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間に2名以上発生した場合
 - ・同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- (6) 職員（従業者）の法令違反・不祥事等（利用者からの預かり金の横領、送迎時の交通違反、個人情報情報の漏洩（疑いを含む）など、利用者の処遇に影響があるもの）
- (7) 利用者が無届けで外出し、警察、消防等に捜索の協力を依頼した場合
- (8) その他、利用者の所持品、家財等を破損するなど、利用者又はその家族等から苦情が出ている場合

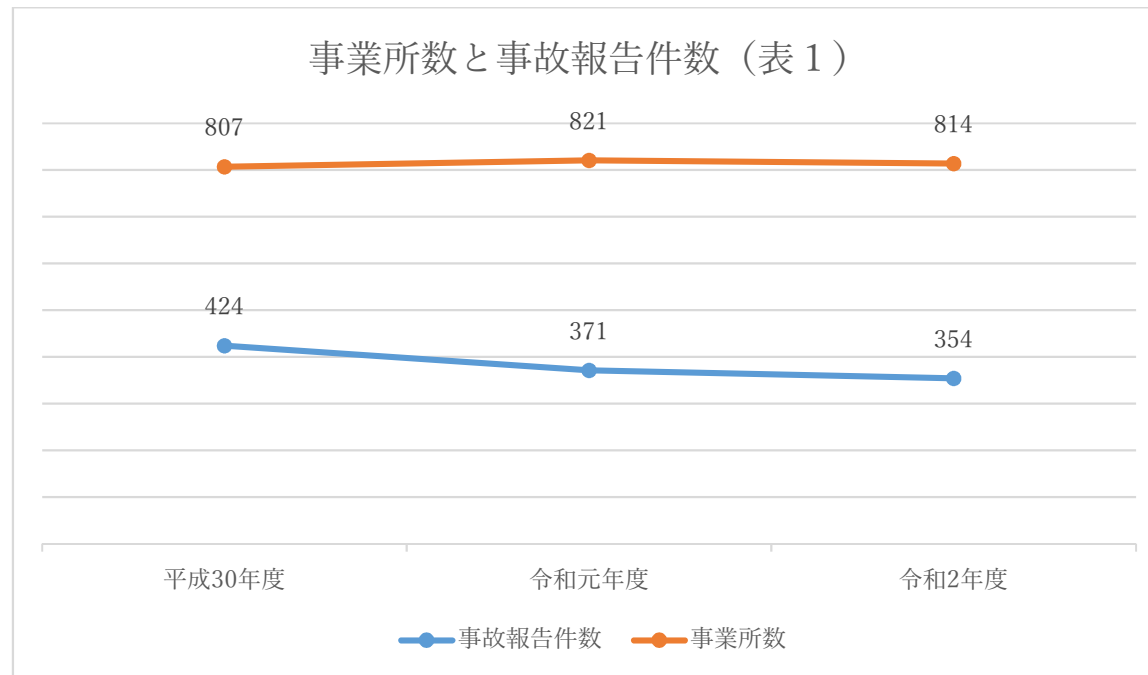
2 事故報告の対象

- (1) 鳥取市内の介護保険事業所による事故
- (2) 鳥取市の被保険者の事故

3 事故報告の内容

(1) 事故報告件数

本市の中核市移行後の事故報告件数は、平成30年度 424 件、令和元年度 371 件、令和2年度 354 件と、微減傾向となっている。事業所数は横ばいである。

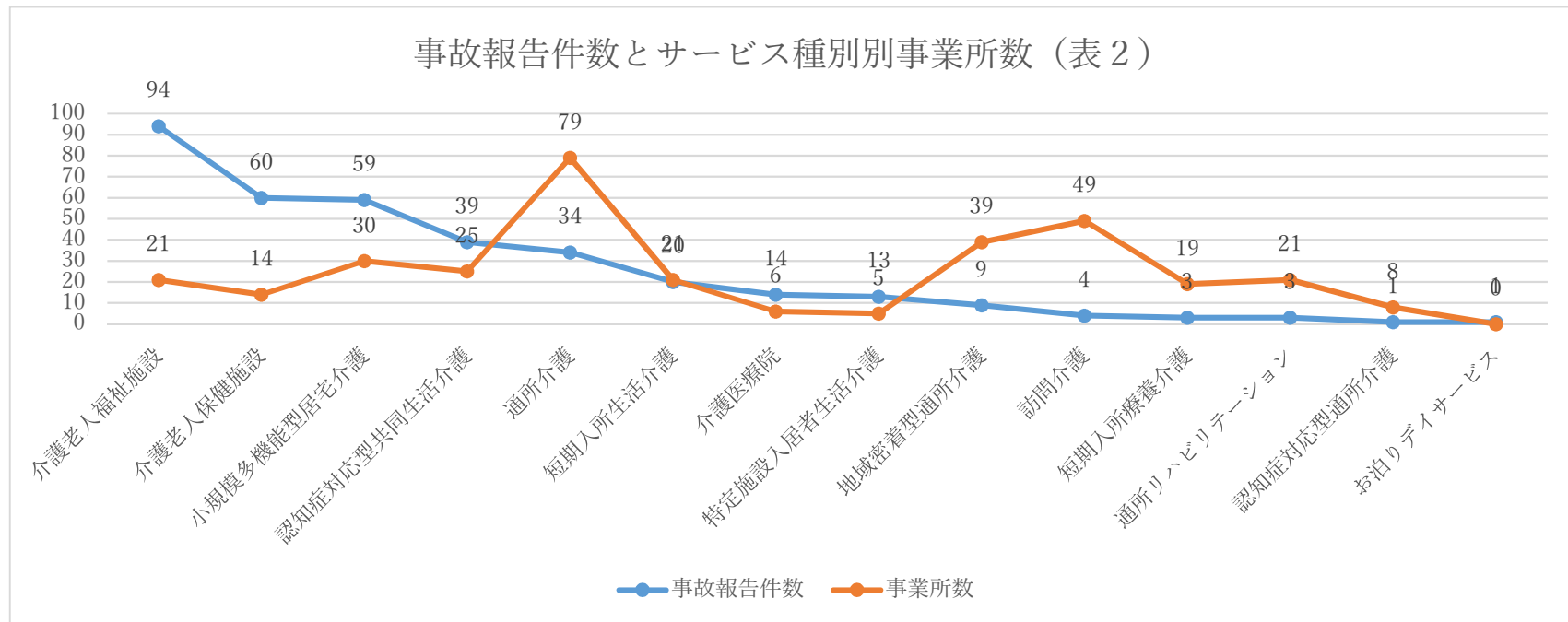


※（地域密着型）介護予防サービス、総合事業は含まない

(2) サービス種別別の分類

最も事故報告件数が多かったのが、介護老人福祉施設の94件であった。

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、介護医療院、特定施設入居者生活介護の施設系サービスで合計すると182件（事故報告の51%）で、これらは、事業所数と比較して事故報告書の件数が多い傾向にある。



(3) サービス種別別の事故内容

最も多かった事故種別は、「転倒（介助中以外）」で150件だった。

大別すると、転倒、転落・滑落が170件（48.0%）薬関連の事故（服薬漏れ・相手違い・誤薬・落薬）が113件（31.9%）だった。

サービス種別別の事故内容（表3）

	転倒	誤薬（相手 違い・誤 薬）	誤薬（服薬 漏れ）	誤薬（落 薬）	不明	その他	転落・滑 落	異食・誤 嚥	離設（捜 索 依頼含）	個人情 報漏 れ	合計
通所介護	25	1	2	0	2	2	0	1	1	0	34
認知症対応型共同生活介護	19	4	5	2	2	2	1	1	3	0	39
介護老人福祉施設	20	16	6	17	12	9	9	3	1	1	94
短期入所生活介護	9	4	3	2	1	1	0	0	0	0	20
小規模多機能型居宅介護	21	8	10	9	1	5	3	1	1	0	59
介護老人保健施設	38	5	2	2	3	1	6	3	0	0	60
短期入所療養介護	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
通所リハビリテーション	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
介護医療院	0	4	5	1	3	1	0	0	0	0	14
訪問介護	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	4
地域密着型通所介護	5	0	0	0	2	0	0	1	1	0	9
特定施設入居者生活介護	9	0	0	1	2	0	1	0	0	0	13
認知症対応型通所介護	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
お泊りデイサービス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	150	43	36	34	30	23	20	10	7	1	354
	42.4%	12.1%	10.2%	9.6%	8.5%	6.5%	5.6%	2.8%	2.0%	0.3%	-

(4) 事故原因及び結果

事故の原因結果で一番多かったのは、転倒による骨折で、原因不明の骨折も多く発生していた。

事故原因及び結果 (表4)

	異常なし	打撲・捻挫・脱臼	裂傷・切傷・擦過傷	骨折	その他の外傷	その他	死亡	合計
転倒	9	17	25	92	4	3	0	150
離設 (捜索依頼含)	4	0	2	0	0	0	1	7
不明	1	0	1	24	4	0	0	30
転落・滑落	0	1	6	10	3	0	0	20
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	8	2	10
その他	2	2	2	9	5	2	0	22
合計	16	20	36	135	16	13	3	239
	6.7%	8.4%	15.1%	56.5%	6.7%	5.4%	1.3%	-

※誤薬関連を除く

※その他は、偏頭痛 (異食・誤嚥)、外傷性くも膜下出血 (転倒)、カテーテル抜去 (その他) など

(5) 発生時間帯別事故件数

事故の発生時間帯は、「10：00～11：59」が最も多く、次いで、「14：00～15：59」「18：00～19：59」が多かった。

発生時間帯別事故件数（表5）

	転倒	誤薬（相手違い・誤薬）	誤薬（服薬漏れ）	誤薬（落薬）	不明	その他	転落・滑落	異食・誤嚥	離設（搜索依頼含）	個人情報漏れ	合計
0：00～1：59	10	0	0	2	0	1	1	0	0	0	14
2：00～3：59	9	0	1	0	0	0	2	0	0	0	12
4：00～5：59	10	0	0	0	2	0	0	0	0	0	12
6：00～7：59	18	5	1	0	2	1	3	0	0	0	30
8：00～9：59	12	7	5	10	4	1	1	0	1	0	41
10：00～11：59	16	8	2	11	5	6	2	2	0	0	52
12：00～13：59	14	2	5	4	1	2	0	1	2	0	31
14：00～15：59	25	1	4	1	4	7	1	3	1	0	47
16：00～17：59	6	9	7	1	1	1	4	2	1	0	32
18：00～19：59	18	11	8	1	1	2	1	2	2	1	47
20：00～21：59	6	0	1	2	0	1	3	0	0	0	13
22：00～23：59	6	0	1	1	1	1	2	0	0	0	12
不明	0	0	1	1	9	0	0	0	0	0	11
合計	150	43	36	34	30	23	20	10	7	1	354

(6) 発生場所別事故件数

最も多かった事故発生場所は「居室」の88件、続いて「談話室、リビング」の49件であった。

	転倒	不明	その他	転落・滑落	異食・誤嚥	離設(捜索 依頼含)	合計
居室	55	11	9	12	1	0	88
食堂・談話室・リビング	39	3	4	5	9	0	60
トイレ	13	1	0	0	0	0	14
浴室・脱衣室	9	1	4	1	0	0	15
廊下	16	0	0	2	0	0	18
施設玄関	5	0	0	0	0	0	5
その他施設内	8	1	3	0	0	0	12
その他施設外	3	0	2	0	0	7	12
送迎中	2	0	1	0	0	0	3
不明	0	13	0	0	0	0	13
合計	150	30	23	20	10	7	240

※誤薬関連、個人情報漏れを除く